

アンケート1 「道徳」の時間についてのアンケート

生徒・保護者対象

年 組 生徒氏名() 保護者氏名()

これからの道徳の時間を、「子どもの悩みに寄り添い、子どもの思いや願いを大切にしながら共に考える時間、子どもの自己実現に向けて、明日への意欲を生み出し、生きることの素晴らしさを感じ取ることのできる時間」にしたいと考えています。

このアンケートは2学期の「道徳」の時間と今後の指導の参考にさせていただくためのものです。ご協力をお願いいたします。また、アンケート結果については、個人名が特定されるような使用の仕方はいたしませんので、感じたままをありのままにお答えくださいますよう、重ねてお願いいたします。

「心のノート(文部科学省)」8～9ページの「23の鍵(あなたの生きていく世界を開いていく鍵)」を参考にして、次のアンケートにお答えください。1～4については子どもが、5、6については保護者の方がお答えください。

1 3年生になってからの「道徳」の授業で、印象に残っていることはどんなことですか。

2 中学生になってからの「道徳」の授業で、自分の生き方と関わって参考になったことや深く考えさせられた内容について教えてください。

(学年)
内 容

3 あなたが大切にしている「鍵」はどんな鍵ですか。また、不安や心配を感じている「鍵」はどれですか。それぞれ理由も一緒に書いてください。(複数回答可)

<p>大切にしている鍵</p>	<p>理 由</p>
<p>大切にしている鍵</p>	<p>理 由</p>
<p>不安や心配を感じている鍵</p>	<p>理 由</p>
<p>不安や心配を感じている鍵</p>	<p>理 由</p>

4 「道徳」の授業でみんなで一緒に考えてみたい「鍵」はどんな鍵ですか。(複数回答可)

ここからは保護者の方がお答えください。

なお、鍵については、お子さんがつけた1から23の番号でお書きください。

5 「生きていく世界を開いていく鍵」の中で、どの「鍵」について、学校で特に力を入れて指導してほしいですか。理由も一緒にお書きください。(複数回答可)

()

6 「生きていく世界を開いていく鍵」の中で、「道徳」の時間の充実のために、保護者や地域の方々が子どもと一緒に考えてみたい「鍵」をあげてください。(複数回答可)

教員対象

年齢 (20歳代 30歳代 40歳代 50歳代)

担当学年 (年) 担任 副担任 (いずれかに)

「心のノート(文部科学省)」8～9ページの「23の鍵(あなたの生きていく世界を開いていく鍵)」を参考にして、次のアンケートにお答えください。

1 「道徳」の時間を指導するときに、特に大切にしていることや力を入れていること、意識していることをあげてください。

2 これまでの「道徳」の時間の指導の中で、子どもと共にじっくり考えられた「道徳」の時間を振り返り、その内容項目とどんな手だて、方法を講じたのかを教えてください。

3 あなた自身の「道徳」の時間についての悩みや難しいと思うことなどを思いつくままに3つ書いてみてください。

4 これから道徳の時間を指導していくにあたって、子どもがどんなふうに活躍している姿がみたいですか。

5 東中生が様々に活動する姿を見たとき、東中生が大切にしていると思う「鍵」と不安や心配を感じるので、これからもっと大切にしてほしいと思う「鍵」について3つずつあげてください。

「鍵」の名称については、「心のノート」8～9ページの鍵に、視点1の「自分自身に関すること」から順番に、1～23の番号を振っていただいてその番号で答えていただいても結構です。

<p>大切にしている鍵</p>	<p>大切にしている鍵</p>	<p>大切にしている鍵</p>
<p>大切にしてほしい鍵</p>	<p>大切にしてほしい鍵</p>	<p>大切にしてほしい鍵</p>

学習指導案1 ガイダンス道徳

《 準備 》生徒 心の YUME ファイル、アンケート、心のノート
 教師 付箋紙(大・小)またはカード(短冊)、ガイダンス道徳ワークシート(習繪)、心のノート、アンケート
 集計結果(3年生の「道徳」の時間で印象に残っていること、「道徳」の時間のイメージ)、マジック35
 本(多色)
 《 ガイダンス道徳の時間のねらい 》

「道徳」の時間の意味や性格について気づかせたり、考えさせたりしながら、自分自身の心に向き合うことで、これからの道徳の学習をより主体的なものにしていくための意欲、興味・関心を喚起させる。また、「持ち寄った情報を整理する活動」「じっくり考え、表現する活動」等の活動をMy道徳の時間に向けて体験させる。

- 《「道徳」の時間で気付かせたい四つの感覚》
 【「三つのわかる」と「かわる」という感覚】
 A 自分がわかる(気付いていなかった自分の感じ方・考え方がわかる)
 B 他者がわかる(自分以外の人の感じ方・考え方がわかる)
 C 道徳的価値がわかる(人間として生きていくうえで大切なことがわかる)
 D 自分が変わる(他者との交流により自分の価値観が変わる、広がる)

《 ガイダンス道徳の時間の展開 》

段階	学 習 活 動 ・ 主 な 発 問	時間	教師の支援・指導上の留意点
導 入	1 今日学習の課題(めあて)を知る。 自分がこれから大切にしていきたい心の鍵を見いだそう。 友達が大切にしている心の鍵について知り、自分と比べてみよう。	10	・今日の学習の課題をめあてとして提示する。 ・アンケートの結果を提示する。
展 開 前 段	2 これまでの「道徳」の時間について振り返る。 3年生になってやった道徳で、みんなが印象に残っているとあげてくれたのはこんなことでした。 ・ の授業で、みんなで話し合いすごく盛り上がった。 ・ の授業で の生き方が印象に残っている。 ・ の話が感動的だった。 みんなが道徳の時間だけでなく、テレビや新聞、雑誌などで会った人や事柄で、(自分の生き方と関わって)じっくり考えさせられたり、参考になったりしたことはありますか。それはどんな人(こと)ですか。 ・ プロジェクトXに出てくる人たち。 ・ 世界を舞台に活躍するサッカー選手の中田英寿、稲本潤一、野球選手のイチロー。 ・ 24時間テレビ100キロマラソンの西村知美。	10	・「じっくり考えたり、参考になったり」という発問で難しいようだったら、「印象に残っている人」という視点で思い出させる。
展 開 後 段	3 自分自身の心を振り返る。 先ほどあげてくれた経験やアンケートに書いてくれたことなどを参考にしながら、自分が生活する上で大切にしてくる心の鍵(心がけてきたこと)をポストイットカードとカードに書き出してみよう。 ・ 感謝と思いやりの心をもつ鍵 ・ 目標や希望に向かい勇気をもって生き抜く鍵 ・ 自分のよさを見つめ個性を伸ばしていく鍵 自分が書いたポストイットカードを「心のノート」8~9ページを参考にしながら分類してみよう。そこから気付いたことをワークシートに書いてみよう。 ・ 自分自身に関わることが多い ・ 偏りがある 自分で気付いたことを発表し合おう。 今度は、グループになってお互い自分が大切にしてきた鍵について、紹介し合ってみよう。お互いなぜその鍵を大切にしてきたのかも一緒に伝えよう。友達の発表を聞いて、何か聞きたいことがあったら質問してもかまいません。 お互いの発表が終わったら、グループの代表の人は、みんなが書いてくれたカードを黒板に貼ってください。	10	・自分自身と静かに対話させる。 ・自分の傾向に気付かせる。 ・視点1「自分自身に関すること」と視点2「他の人とのかわりに関すること」についての鍵が多いと予想される。
	4 グループトーク(仲間との交流)を通して、感じたことをまとめ、発表し合う。 友達の発表を聞いて気付いたこと、感じたことをまとめてみよう。 《黒板を見て》 ・やはり自分自身という束の鍵が圧倒的に多い。 ・それぞれが自分なりの鍵を大切にしている ・偏りがあり、全然意識されていない鍵もある。 ・23もの鍵があるのだから、自分の人生を開いていくのにはもっとたくさんの鍵を意識する必要があるかもしれない。 ・もっといろいろな鍵を大切にしたい方がいい。 《グループトークから》 ・同じようできて、みんな違うんだな。 ・自分とみんな似ているけど微妙に違うな。 ・友達の考え方がわかった。 ・友達の意外な一面が見られた。 ・自分ももっと他の鍵も大切にしようと思った。	15	・ポストイットカードと一緒に書いたカードを友達に見せながら、グループトークする。 ・全員のカードがはれたことで、話し合いが終了したことを確認する。
		10	・クラスの傾向を踏まえ、自分たちの未来の扉、生きていく世界を開いていくには、一つの鍵で開くとは限らないのを見て、「友達の発表を聞いて」の観点からまとめさせる。 ・机間指導をし、書けない子には、「友達と自分と比べてみて」などの観点を個別に与える。 ・「もっとたくさんの鍵を意識する必要がある…」という意見が出たら、「なぜ大切にしたい方がいいのか」を追発問する。

まとめ	5 今日の授業で考えたことを書く。 「道徳」の時間について考えたこと、今日の授業を通して感じたこと、考えたこと、これからの授業への思い、願い、期待などを書いてみよう。	5	・「私は私を創ってゆく責任者」の言葉を黒板に貼る。 ・今日の授業を通して感じたこと、考えたこと、これからの授業への思い、願い、期待等を自由に書かせる。
-----	--	---	--

学習指導案 2 行事関連道徳 にぎりしめた金のおり紙(3年)

ステージ4 ねらい 「みんなで味わう(味わえる)感動」を考え、2学期の一大イベントである藤樹祭への集団としての意欲をかき立てる。			
主題名	One for all 集団生活の向上/役割・責任	内容項目	4-(1)
資料名	にぎりしめた金のおり紙(生徒作文)		
ねらい	集団が向上するとはどういうことなのかを考え、集団としての自覚を高め、集団の一員として、すすんで自分の役割を遂行しようとする態度を養う。		
体験との関連	事前 音楽発表会(合唱コンクール)のクラス練習	授業 藤樹祭未来劇場を創る	事後 音楽発表会(合唱コンクール)
準備	カード(B4再生紙を8等分したもの)クラス人数分×3程度 A3再生紙(A3色上質紙又は四つ切り色画用紙)4枚×班数 マジック(セット)×班数		
	学 習 活 動 ・ 主 な 発 問	時	教師の支援及び指導上の留意点
	0. あらかじめ、イメージマップを使って、現時点での生徒の藤樹祭への思いを実態として調べ ておく。 0. これまでに「感動した体験」を振り返ると共に、家族など自分の身近な人たちに「感動した 体験」を取材しておく。		・いつ頃のこと、どんな体験かわかるように取材した情報を整理させておく。
導入	1. 「感動体験」を出し合う。 みんなが取材して持ち寄った「感動した体験」を出し合う。 ・望んでいたことの実現 ・目指していたことの達成 初めて何かできた 優勝できた 目標への到達 ・思いがけない出会い ・自分の成長、向上 ・集団の成長、向上 どうしていい結果が出ると、感動するのだろう。 ・すごく嬉しいから。感激するから。 それでは、いい結果が出なければ、感動はないのだろうか。 ・結果がいい方が感動も大きい。 ・いや、そんなことはないのでは。 今日は、「集団で、みんなでだからこそ味わえる感動」というものにスポットを当て、一つの行事を通して、集団がパワーアップする。「集団 が成長する。向上する。(クラスがよくなる)」とはどういうことなのか、そしてその中で一人一人が果たすべき役割とは何なのかをみんなで考えていこう。	10	・B班(6人グループ)で作業させる。 ・それぞれ同じタイプの感動体験をまとめさせる。 ・生徒がまとめた物の中から、自分や集団の向上に関わるものに注目させ、本時の学習への方向付けを図る。 ・感動は必ずしも結果だけではないことに気付かせる。 ・今日の課題を確認する。
展開	2. 先輩の作文を読み、「みんなで味わう感動」や「集団が成長すること」について考え、集団の中で一人一人が果たす役割について考えを深める。 作文を読み、宝の言葉、「こういうことがあるから藤樹祭はいいんだよなあ。」とか「うーん、いいなあ」など、この子が「藤樹祭で得た宝物」に線を引いてみよう。 作文の中の言葉(形を変えてもよい)と「藤樹祭」「クラス(集団)」「一人一人」の言葉を使って、「藤樹祭未来劇場(ストーリー)」を創ってみよう。	20	・本時では、先輩の経験(作文)をもとに、みんなで感動のある藤樹祭にするには、一人一人がクラスの中でどうしていったらたらよいかを考えながら作業をするように伝える。 ・まず、個人で考えさせ、その後班学習に移行させる。 ・「2002. 藤樹祭 私たちの藤樹祭はこうなる」と題し、紙芝居(四コマ)の要領でまとめさせる。絵を補助的に加えたり、様々な色を使ったりして工夫させ、班の独自性を尊重する。 ・一人一人がどんな考えをもって臨むことが大切なのか、その考えに基づいてどんな行動をしていくのかなどを盛り込むように助言する。 ・できれば、四枚綴りの作品を例示し、机間指導を充実させる。 ・ストーリーを語る場面で、一つの例として、先輩たちは だから、 があった。私たちは(も) にしたい、 にすれば、 になる(だろう) のように、先輩の体験を意識させたい。 ・机間指導で班ごとの進捗を確認し、発表順番カードを配布し、意図的な順で、発表をさせる。
	3. 班ごとにまとめたものを発表する。 一言、感想を聞いてみよう。	10	・3の活動は時間がなければカットする。
終末	4. 今日の授業で考えたことを書く。 クラスを構成するのは、みんな一人一人だ。一月後に迫った藤樹祭のことを考えながら、集団の中で自分はどうあるべきなのか、自分の役割は何なのかをじっくり考えながら、今日の授業で考えたこと、感じたことを書こう。	10	

自己評価シート

今日の授業を振り返って（先生による先生のための振り返りシート）

授業の実施順 実施学年・組 年 組 授業者

実施年月日 平成 年 月 日 () 第 校時

- | | | | | | | |
|---------------------------|-----|---|---|---|---|---|
| 1 生徒の反応からみた資料の有効性 | S A | A | B | C | D | E |
| 2 生徒のねらいの達成度からみた指導過程の工夫 | S A | A | B | C | D | E |
| 3 主体的な取り組みという視点からみた学習形態 | S A | A | B | C | D | E |
| 4 生徒の思考の流れ、深まりからみた発問とその構成 | S A | A | B | C | D | E |

一言感想・反省

ワンポイントアドバイス

同じ内容項目で扱えそうなよい資料があったら、紹介してください。

学習指導案 3 行事関連道徳 輝く東中（3年）

主題名	東中生としての誇りを胸に（愛校心）	内容項目	4 - (7)
資料名	輝く東中（平成13年度藤樹祭参観者・オープンスクール来校者感想より）		
ねらい	保護者や地域の方々の東中生に対する印象や思いを知り、東中学校の一員としての誇りをもち、自分たちの夢や希望を実現させるために出来ることや大切なことを考え、仲間と共に協力し合い、実践しようとする態度を養う。		
体験との関連	事前 音楽発表会のクラス練習・アルミ缶回収	授業	事後 藤樹祭 / 音楽発表会・車いす贈呈式
準備	色上質紙（2色 それぞれ人数×2） 色画用紙または白画用紙（A3 班の数×2） マジック（班の数セットで）		
	学 習 活 動 ・ 主 な 発 問	時	教師の支援及び指導上の留意点
	0. あらかじめ、東中生のよいところを考えておく。		
導入	1. 自分で感じている東中生のよいところを考える。 東中生の「こんなところがよい」と自分が思うところを感じたままにあげてみよう。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に、今日の課題（東中を輝かせるために私たちが出来ることや心がまえについて考えよう）を確認する。 ・個人で自分たちの姿をしっかりと見つめさせ、カード（色上質紙）に書かせる。 ・授業の途中でBグループ（4人）に隊形移動する ・カード（色上質紙、上とは違う色）に書かせ、自分で考えたよいところと一緒に画用紙に貼らせる。 ・保護者や地域の方々の自分たちへの期待だけでなく、感謝の気持ちを抱かせたい。 ・「藤樹祭」や「3年生」という立場を意識させたい。 ・「こんな学校にしていきたい」と子どもの言葉で、夢や希望を語らせる。 ・単に「出来ること」ではなく、それを実現させるために大切な態度や心構えを宣言させる。 ・発表時間と残りの時間を考え、発表ではなく、班ごとに掲示し、それぞれ回って見ることで自分以外の班の考えに触れる方法も考えておく。 ・ワークシートにまとめさせる。
展開	2. 他人から見た東中生のよいところを考える。 昨年度藤樹祭とオープンスクールに来てくれた保護者や地域の方が、書いてくれた感想文を読んでみよう。東中生についてどう思っているかが分かるように線を引いてみよう。線を引いたところを基にして、保護者や地域の人たちが東中生のよいところをどんなふうにとらえているか、グループになって意見を出し合い、まとめてみよう。	30	
	3. 東中の一員として、これからの自分（たち）の在り方を考える。 これからみんなはどんな東中にしていきたいか。東中をさらに輝かせるために、これからどう考え、どう行動していったらいいだろう。		
終末	4. 班ごとに発表し合い、他の班の考えに触れる。		
	5. 今日の授業を終えて感じたこと、考えたことをまとめる。	10	

学習指導案 4 行事関連道徳 エール～哀れみではなく同じ仲間として（3年）

生徒の実態：藤樹祭に向けて、合唱練習にも次第に熱が入って来た。全員が音楽発表会（合唱コンクール）を意識するようになり、もう一つの柱であるアルミ缶回収についても32人中、22人が意識している。しかし、今年度、地域の特別養護老人ホームへの車いす寄贈に加え、国際貢献（アフガニスタンへの募金）に役立てたいと、生徒会本部が呼びかけているのに、生徒に浸透していない現状がある。事前の実態調査で「藤樹祭」から広げたイメージマップに、アフガニスタン・国際貢献に関連することを書いた者は0。アルミ缶回収の意味を本校の教育目標の一つ「共生」の面から考えると共に、生徒の国際貢献への意識を高めたい。

主題名	社会連帯の精神・共生社会の実現（国際貢献）	内容項目	4 - (3) (4 - (10))
資料名	『黒い太陽と笑顔』（『あの日のかきまじり（ニューヨークとアフガニスタン 絵で伝える子どもたちの心』より 自作）		
ねらい	思いやるべき他者の存在を知り、同情や哀れみではなく、同じ人間としてその痛みを知ることで、手をさしのべようとする意欲を喚起し、共生社会を築いていこうとする心情を高める。		
体験と	事 アルミ缶回収・チャレンジ	授	事 藤樹祭 / 車いす贈呈式

の関連	前	ウィーク	業	後	アフガニスタンへの募金
準備	世界地図(掛け図) ポストイット マジック(セット) 班数分				
	学 習 活 動 ・ 主 な 発 問	時	教師の支援及び指導上の留意点		
導入	<p>1. 今日の学習の課題について知る。 今日は、教育目標にもある「共生」について考えよう。共生(共に生きる)って、どういうことなのだろう。どんなことをイメージする? カードに書いて、グループで分類してみよう。 仲良く生きること。 相手の気持ちを気遣って生きること。 一緒に生きていくこと。 アルミ缶回収みたいなのがそうだ。 今、みんなの中からも出たけれど、今日はアルミ缶回収を通じて、「共生」について考えていこう。</p>	10	<p>・子どもの発言の中から、「アルミ缶回収」につなげたい。</p>		
展開	<p>2. アルミ缶回収の意味について考える。 この前の授業で、東中生のよいところとして、「ボランティア活動が盛ん」「アルミ缶がたくさん集まる」というのがあがっていた。藤樹祭に向けてどのクラスも一生懸命集めているようだね。そこでちょっとみんなの考えを聞きたいんだけど、みんなはアルミ缶を集めるという活動をどんなふうと考えているの? お年寄りに車いすを贈るための活動。 アフガニスタンに募金を贈るための活動。 お年寄りが喜んでくれる。 お年寄りの生活が楽になる。 お年寄りの足が確保され、散歩に行ける。 アフガニスタンの子どもたちが少しかもしれないけど楽になる。 自分たちだけでなく、みんなが幸せになれる。 自分たちだっているいろいろな人々に支えられている。だからそれを返すんだ。</p> <p>3. アルミ缶回収を通じて支援しようとしているアフガニスタンの子どもたちについて知る。 2枚の絵からどんなことが分かる? 太陽が黒い。 家が燃えている。日が黒い。 山の上で大砲みたいなものを撃っている。 飛行機みたいな飛んでいる。 銃で家の中の人が撃たれている。 使っている色が黒が多く、暗い感じ。 この子どもたちはいったいどんな生活をしていたのだろう? 身近な所で戦争が起きている。 空襲におびえる毎日。 自分たちの生活している場所にも飛行機が飛んできて爆弾が降ってくる。 もしかしたら家族が殺されてしまっているかも知れない。 こういう子どもたちの状況を知ってどんなふうと思う? かわいそう。 私たちと全然違う。 私たちは恵まれている。 私たちの普通が普通じゃない。</p> <p>この写真を見て。みんなはかわいそうだと言ったけれど、この子どもたちはこんな状況の中でも笑っているんだね。この笑顔にはどんな意味があるのだろう(この目はどこを見ているのだろう。)(自分たちと比べてみて。この子どもたちの笑顔とみんなの笑顔、どこが違う?) きっと明るく明日を信じているんだ。 夢や希望をもって明るく生きようとしているんだ。 子どもはやっぱり純粋だから。 きっと考えていることや思っていることもおんなじなんだ。だから笑顔も僕たちと同じなんだ。</p> <p>4. 募金する意味について考える。 私たちはアルミ缶回収の収益金の一部をアフガニスタンに贈ることになっているね。私たちは募金にどんな思いを込めていくことが大切なのだろうか。 違いは、日本に生まれたか、アフガニスタンに生まれたかだけ。夢や希望を叶えたいという思いに代わりはない。私たちとおんなじなんだ。私たちも頑張るから、みんなも頑張るしてほしい。エールを送りたい。 人類皆きょうだいという言葉がある。困っている人を助けてあげるのに国境なんてない。もしかしたら自分がそうになっていたかも知れないんだし。 今は、日本は恵まれた状況だが、いつそんなふうになるかわからない。情けは人のためならずなんていう言葉もあるし、そう考えると出来る限りの手助けをしてあげたい。</p> <p>5. お互いの意見を発表し合う。 さん、発表をお願いします。</p>	10 10 10	<p>・単に車いすを贈るということではなく、相手の気持ちなどにも気付けさせる。そのために、一昨年、お年寄りたちがみらい館からホームに帰るとき、わざわざ東中の前を通り、両手を合わせて、拝みながら「有り難いこと」と涙を流して喜んでいただという姿を紹介する。</p> <p>・アフガニスタンへの支援に気付かなければ、生徒会長、生徒会本部役員等に問いかけ、アルミ缶回収にどんな思いを込めているか語ってもらう。</p> <p>・アフガニスタンの首都カブールの子どもたちが書いた絵で、上が13歳、下が16歳の子が描いた絵だと告げる。</p> <p>・「わたしのまち」と題して描かれた絵であることを告げ、題名と絵に描かれた内容から、この子がどんな生活を送っていたか考えさせる。</p> <p>・面積、人口、首都、人種、宗教、成人の識字率、1歳未満児死亡率、5歳未満児死亡率、改善された水源を利用する人の比率などの情報を知らせる。 ・さらに、バオスで暮らすアフガニスタン人70万人。4人に1人が家族の誰かを殺された経験をもつ。親を失った子ども1600人、医者2人という現状を伝える。 ・悲惨な状況に、かわいそうなどの同情的な意見が集中すると思うが、そのまま次の発問をする。</p> <p>・平和が来ることを信じている気持ち、夢や希望をもつ気持ちがなければ、こんなにも純粋な笑顔は見られないことに気付かせたい。</p> <p>・時間をたっぷり取り、絵と写真を見比べながら考えさせ、ワークシートに書かせる。 ・同じような年齢にある子どもたちが、決して恵まれているとは言えない状況の中で見せている笑顔から、希望を持っていきようとしている姿、明るく生きようとしている姿に気付かせたい。自分たちと変わらない夢を持つて明るく生きようとしている子どもたちであることに気付かせ、その上で同情や哀れみから「恵んであげる」ではなく、自分たちと同じように生きようとしている仲間を応援、支援するような気持ちを喚起したい。</p>		
終	6. 今日の授業で考えたことを書く。	10	<p>・挙手による発表と共に、机間指導で発表者を決めておき、意図的な指名をする。 ・思考の深まりが不十分な子には、高い価値観をもった子の発表を聞かせることで、自分との違いに気付かせたい。 ・子どもの発言の中から言葉を引用し、「共生とはこういうものなんだね。」と教師がまとめ。</p>		

<p>深める</p>	<p>*思ったことは本音で言うようにした。 *体調を整えるように規則正しい生活を心がけた。 *風邪を引かないようにうがいと毎日欠かさずした。 *家の周りの空き缶拾いをした。 *友達と一緒に練習の計画を進んで立てた。 *家で指揮・伴奏の特訓をした。 *勇気を振り絞って大きな声で歌った。 *放課後練習のために、清掃を早く終わりにするよう協力した。 *昼の練習のために給食の後かたづけをてきぱきとした。 *家で自分がよく歌えないところを練習した。 *とにかく一回一回の練習に全力で取り組んだ。 *放課後指揮者の練習につきあった。 *体調の悪いクラスメイトに声を掛けて介抱した。 *自信がもてるようになるまで何度も練習した。 *クラスの雰囲気を高めた。 *目標をいつても忘れないようにした。 *あきらめたり、くじけたりしないように友だちと励まし合った。 目標達成や成功の決め手となることをまとめてみよう。 *具体的な努力を積み重ねることが大切。 *絶対に達成するんだという強い意志をもつこと。 *自分の力を信じること。 *目標をしっかりとつこうこと。 *目標達成に向けて計画を立てること。 *計画を立ててとにかく実行すること。</p> <p>「成功は旅である」という言葉がある。目標を決めたときから達成するまでのすべてが成功である。つまり、成功はそこに行き着くまでが大事だということだね。</p>	<p>ち、確かな目標などの一つ一つが自分を成功に導いていることに気づかせたい。</p> <p>・ピアノ伴奏者になり、不安で不安でたまらなかつたが、友だちの好意に支えられて頑張れたと作文に書いたHT君に発言させたい。 ・藤樹祭の作文で友だちのありがたさ、やさしさを知ったと書いたTK君(体調が悪かった)に発言を求めたい。 ・キーワードにサイドラインを引き、視覚的にとらえられるようにする。</p> <p>15</p> <p>・これが、生活(個人)目標と藤樹祭の目標の達成率の違いになることを意識させる。 ・個人で3つまとめさせ、その後グループ(4~5名)で、意見を交流させ、「目標達成・成功の決め手 トップ3」としてまとめさせ、黒板に出来た順に貼らせ、発表させる。 ・個人5分、グループ5分、発表5分の時間を目安とする。 ・「目標をもつこと」「強い意志」という考えは、後の「目標や希望に向かい勇気を持って生き抜く鍵 1-(2)」の指導につなげるよう、考慮する。 ・時間的な余裕があれば、「成功は である」と投げかけ、自由な発想で考えさせたい。</p>
<p>つなげる</p>	<p>3. 自分の成功をイメージし、「成功行きの切符」を見つける。</p> <p>自分にとっての「成功」をイメージしてみよう。 *志望校合格 *医者になって人のために働きたい。 *将来の夢を実現させるために高校に合格する。 *福祉関係の仕事について社会のために働きたい。 *コンピュータを使った仕事について、様々なものを開発したい。 *世界を行き来できるような仕事に就きたい。</p> <p>自分の周りにある「成功行きの切符」を見つけて発表し合おう。 *毎日計算練習を必ずやる。 *一日英単語を5つずつ覚える。 *毎日欠かさず読書をする。 *規則正しい生活をして、決まった時間に勉強する。 *やっぱり受験までの計画をしっかりと立てたい。</p>	<p>15</p> <p>・将来の自分にとっての「成功」を具体的な姿でイメージさせる。 ・個人でじっくり考えさせ、夢や希望を語らせる。 ・発表は数人にさせ、事後の進路指導に活かす。</p> <p>・身近にある出来そうな具体的な目標を考えさせる。紹介し合うことで「これなら自分でも出来そう」という気持ちを喚起させたい。</p> <p>・ステージ5、6への連続を考え、進路選択、進路決定を意識させ考えさせる。</p>

学習展開案6 My 道徳 思いやりについて考える(プレMy 道徳)(3年)

ステージ5のねらい：自分の思いや願いを大切にしながら、本気で考え、他者とのかわりの中でその考えを深め、自分自身のよりよい在り方、生き方を求めようとする態度を養う。

本時で扱う「思いやり・感謝 2-(2)」感謝と思いやりの心をもつ鍵 にかかわる実態

保護者の願い：「道徳」の時間についてのアンケートで、子どもと一緒に考えたい鍵として、「感謝と思いやりの心をもつ鍵

2-(2)」をあげた人が最も多かった。「高齢社会になっている現在、高齢者に対して思いやりある行動を發揮してほしい」「近所の人と話をしたりするなど、人、ものへの関心をもつことから思いやりは始まる」「思いやりの心から自分と自分の周りの人たちの信頼関係が深まる」「心からありがとう、ごめんなさいなど素直に言えるようになってほしい」「中学生には自分一人で何でもできる、自分一人で生きていけるかのような錯覚も見られる。一人ではなく、多くの人たち、友だちに支えられて生きていることを再認識してほしい。」などの意見が見られた。

事前アンケート 1 「思いやり」と聞いて、思い出すエピソード(自分の経験から)。
2 「思いやり」を行動に移すとき、難しいと感じるところ。
3 難しさを乗り越えて、「思いやり」を行動に移す時、大切なこと。
当日は、オープンスクール中なので、
4 当日の授業の参観 できる できない
5 当日の授業への参加・協力 できる できない

生徒の実態：7の鍵、つまり「思いやり・感謝」の鍵を大切にしている鍵としてあげた者が4名いた。そのうち、思いやりのことを理由に書いてくれた人が2名で、「自分も大切だけど、周りの人とのつながりも大切にしたい」「セクハラとか相手の気持ちを考えない行為は許せない」と言っている。みんなで一緒に考えてみたい鍵として、「感謝と思いやりの心をもつ鍵」をあげた人が4名。理由は、次の通り。

男子1：一人一人が思いやりをもっていけば生きていく上で、相手と親しくなれたり、仲よくなれると思うから。
男子2：人間は一人では生きていけないから、一人一人が思いやりをもってみんなで助け合い生きていきていきたいと思ったから。
女子1：思いやりを大切にすれば、一人一人が優しくなれるので、すごく大切なことだと思ったから。
女子2：思いやりは、信頼とか、友情とか、たまに愛情とかいいものをいっぱい産む。悪いものなんて一つも生まれない。とってもいい気持ちだ。その大切さをもう一度見つめ直したい。

事前アンケート 1 「思いやり」と聞いて、思い出すエピソード(全員)
2 「バスや電車の車内でお年寄りに席を譲ることができませんか」(全員)
悩まないですぐにできる 悩むができる 悩むができない 悩むことなく譲ろうと思わない
どんなことを悩みますか。具体的に書いてください。(全員)
3 「思いやり」を行動に移す時、難しいと感じること。
4 なぜ、「思いやり」の鍵を大切にしているのか。(上記の2名にもう少しついで)
5 なぜ、「思いやり」の鍵を「みんなで一緒に考えてみたいのか。」(4名)

主題名	思いやり	内容項目	2-(2)
資料名	自分の思いやり行動		

	二つのできごと(ニューモラル NO.214 より) 補助資料 思いやりの心を受けとめる(ニューモラル NO.266 より)			
ねらい	日常生活の中で思いやり行動を実践することの難しさに気づき、そのうえで、よりの確かな状況を踏まえた相手の立場に立った思いやりある行動をとろうとする心情を高める。さらに、思いやりを受け止める側の在り方にも気付かせる。			
体験との関連	事前	自分の思いやり体験 アルミ缶回収	授業	事後 藤樹祭/車いす贈呈式 アフガニスタンへの募金 赤い羽根募金
準備	事前アンケートをとっておく(生徒・保護者)			
	学 習 活 動 ・ 主 な 発 問		時	教師の支援及び指導上の留意点
導入	1. 今日学習テーマについて提案をし、聞く。 《生徒による提案・進行》 今日は、「思いやり」についてみんなで考えていきたいと思 います。「道徳」の時間に関するアンケートでは4名の方が「思 いやりについてみんなと一緒に考えていきたいと答えていま した。」その理由は……。保護者の皆さんのアンケート では……。「思いやり」行動や思いやりを行動に移すとき 2. 自分たちの「思いやり」行動や思いやりを行動に移すとき 難しいと思うことを紹介し合う。 話し合いの中から、気付いたこと、日常生活における「思 いやり行動」の難しさの要因を明らかにし、発表し合う。(班 全体で)		5	・「思いやり」についてみんなで一緒に考え てみたいと回答した4名に、提案理由を添え て提案させる。 ・保護者が8人以上いれば、班ごとに、中 に入って一緒に活動してもらおう。
展開 前段	思いやり行動の難しさ(原因として考えられること) 勇気が出ない 相手の気持ちが分からない不安 断られるか心配 喜んでくれないかも心配 断られたときの自分の気持ちが心配 自分の弱さ 恥ずかしさ 相手が臨んでいることなのか		20	・保護者に書いていただいたアンケートを書 いた人が特定されないよう配慮して、カード にして各班に配布する。 ・相手に感謝された経験や喜んでくれた経験 など、具体的な例として出させる。机間指導 の際、成功体験だけでなく、失敗体験も出せ るよう助言する。 ・話し合いの中から、日常生活における「思 いやり」の難しさと共に、なぜ難しいのかま で考えさせ、学習課題とする。 ・話し合い、気づきの視点として、「話し合 いのポイント」をあらかじめ生徒に示してお く。 思いやりの相手 行動出来たか否か 相手の反応 自分の気持ち・相手の気持ち 大人と子どもの違い ・身近な友達などを対象としている例(ブラ イベートの場)と、社会の中で全くの第三者 を対象にした例(パブリックな場での例)と を意識させたい。その上で、親しい間柄で見 ず知らずの人への思いやり行動が難しいこ とに気付かせたい。 ・それぞれの発表の要点をワークシートにま とめる。思いやり行動には、断られる可能性 があることに気付かせたい。 ・保護者も班の中で一緒に話し合いに参加す ること(保護者の協力が得られない場合は、 事前アンケートで代用する)で、思いやり行 動に移すのは、子どもだけでなく、大人で難 しい問題であることに気付かせたい。 ・発表の際は、常に提案グループが率先し て発表を行い、その後自分たち以外の班の人 を指名する。 ・生徒の思考の深まりを見ながら、補助資料 の配布を考慮する。
後段	3. 「二つのできごと」を読み、思いやり行動の難しさを乗り越 えていくのに大切なこと、ヒントとなることを考え、発表し 合う。(班全体で)		15	
終末	《ここからは、教師による進行》 4. 提案者は今日の感想を簡単に発表する。 5. 今日の授業で考えたことを書いて終わりにすることを告げ る。書く。		10	

My 道徳プランニングワークシート

My道徳プランニング ~ 自分の思いや願いの実現に向けて・自分づくりに向けて~

STEP 1 自分の考えや意見(提言)をまとめよう

「My道徳」の時間にみんなで考えたいことについて、自分の考えや意見をまとめてみよう。

まとめるに当たって

- 気になったり感動したことから考えたこと
- 疑問や怒り、矛盾を感じていることから考えたこと
- (悲しみ、寂しさ、ショックなど)心を突き動かされたことから考えたこと

提言者 年 組【 】

何について

私の主張・意見

.....
.....

(以下略)

STEP 2 マイ・プランづくり

自分の提言を自分の生活とのつながりでもらえ直そう!

~自分の生き方、あり方と照らし合わせて、自分の提言をもう一度考え直してみよう。~

自分の生き方、あり方と照らし合わせるとは、

よりよい方向を目指す生き方を考える視点で、自分の提言を見直す。
自分の生活や生き方を振り返って、自分の弱さを乗り越えるという視点で、自分の提言を見直す。
自分の不安や心配を少しでも解消するという視点で、自分の提言を見直す。
自分の願いや思いを実現させるという視点で、自分の提言を見直す。

My 道徳の時間で扱う提言（考えや意見を出して言うこと）とは、広く社会に提言するのではなく、**自分または自分たち、つまり学級の仲間に対して提言すること**を言います。

My 道徳では、

を通じて、

について考えたい。

関連する23の鍵（心のノート）は です。

資料は、 を使いたいと思います。

みんなに考えてほしいこと、みんなと一緒に考えたいことは、

（箇条書きにする）
です。

STEP 3 「My 道徳」の大まかな授業の流れを知ろう！

- | 《 みんなが考えること 》 | |
|--|------------------|
| 1 グループまたは個人による「提言」 | 提言の仕方・提言理由・資料の準備 |
| 2 自分の考えをまとめる
（あらかじめまとめてある場合は）自分の
考えを再確認する・補足する | |
| 3 学級全体での意見交流・意見交換 | 意見交流・交換の仕方 |
| 4 先生からの助言・コメント | （資料の準備） |
| 5 提言者からのコメント | |
| 6 振り返り | |
- 意見交流、交換を終えてからの自己の考えをまとめる。最初の自分の考えと比較し、自己の内容（違いや深まり）や新しい考え方に気づく。

STEP 4 グループの提言をまとめよう

グループ内で、それぞれの提言を発表しあい、みんなで考えたいことは何なのかを中心に意見交換をし、グループの提言を一つにまとめよう。提言の理由（なぜ、提言したのか、そう考えるきっかけになったことなど）を盛り込んで、提言の内容をまとめよう。
まとめるに当たって

自分の今の生活やこれからの生活、生き方、あり方とどう結びつくかの視点（物事を見たり、考えたりするときの立場）を忘れずに入れましょう。（内容的に同じ、あるいは内容の近い者同士が同じグループになっています。）

グループ・プラン

メンバーの名前

My 道徳 / [] プロジェクトでは、

を通じて、

について考えたい。

関連する23の鍵（心のノート）は、

です。

みんなに考えてほしいこと、みんなと一緒に考えたいことは、

（箇条書きにしよう）

提言者

（メンバー全員の名前）

提言（私・私たちの主張・意見）

～を通じて について考える

（以下略）

提言の方法：

学習展開案6 My道徳 「法や決まりについて考える」(3年)

提言者	プロジェクト15 男子1名 男子2名
主題名	法や決まりの意義について考える
関連する鍵	15 法や決まりの意義を理解し社会の秩序と規律を高める鍵 / (4 - (1))
資料名	罰則付き路上禁煙条例を施行した千代田区を取材した新聞記事(11月2日付上毛新聞)
学習のねらい	罰則付き路上禁煙条例(東京都千代田区)を通じて、法や決まりの意義とマナーやモラル、自己規制について考える。
準備	・事前準備 あらかじめ賛成・反対の立場で意見をまとめさせておく。 ・事前準備 インタビュー(役割演技)を依頼しておく。 ・B4版中質紙40枚・ポータブルマイク・スピーカーセット一式・マジック40本
意見交換の話し合いの仕方アイデア	1 罰則付き路上禁煙条例(千代田区)について、賛成・反対の二つの立場に分かれてディベート的に討論する。 2 賛成・反対の理由付けは各自で書いてもらおう。 3 街の人、たばこを吸う人、たばこを吸わない一般区民の立場で役割演技(途中でインタビュー)をする。
その他	

1時間の大きな流れ	プロジェクトチームの活動・発言	時間	みんなの活動	教師の発問・活動・助言等
<p>《気づく》</p> <p>1 グループまたは個人による「提言」</p> <p>2 自分の考えをまとめる(あらかじめまとめる場合は)自分の考えを再確認する・補足する</p> <p>《広げる・深める》</p> <p>3 学級全体での意見交流・意見交換</p> <p>4 先生からの助言(適宜)</p>	<p>1 罰則付き路上禁煙条例について説明し、自分(たち)の意見を主張する。</p> <p>2 賛成、反対のいずれかの立場で理由付けをするよう指示する。賛成、反対のどちらかの立場に立ってまとめた理由をもう一度読み直して、付け足しをする人はしてください。</p> <p>3 賛成(必要)・反対(不必要)の立場に分かれ討論する。</p> <p>賛成の人から順番に理由を発表してください。次に、反対の人をお願いします。賛成側から反対側に質問、意見をお願いします。反対側から賛成側に質問、意見をお願いします。</p> <p>街の人の声(役割演技)を聞くために、インタビューする。</p>	<p>5</p> <p>25</p>	<p>・賛成(必要)、反対(不必要)のいずれかの立場に立って、理由付けをする。</p> <p>・それぞれの立場で、発表する。</p> <p>・街の人の声を聞く。</p>	<p>* B4版中質紙に各自の意見(理由付け)を要約させて書かせ、黒板に貼らせる。</p> <p>* 授業の前にあらかじめまとめておく。 * 机の配置は、提言者が前、賛成・反対で分かれて対面の形似たい敬意どうさせるに隊形移動させる。 * 板書は教師が担当する。</p> <p>* 提言グループ(司会進行)は、全体を見て分かりづらい意見について補足説明してもらおう。 * 質問、意見の発言の前に相談タイムを設ける。</p> <p>《 補助発問 》 歩きたばこのよくないところは？ * 迷惑に思う人がいることに気づかせる。 * 条例施行前街と施行後の街の変化に着目させる。 * 行政、商店街の人、たばこを吸う人、たばこを吸わない人の四つの立場から考えさせる。</p>
	<p>なぜ、この条例が施行されたのかをみんなで考える。</p> <p>どうして、この条例が施行されたのだろう。 発表をお願いします。 先生をお願いします。</p>			<p>* マナーの徹底を呼びかけたり、清掃したり、様々な試みをやった後に条例の制定に踏み切ったいきさつを抑えさせる。</p> <p>《補助発問》 規則や決まりが増えていくとどうなるだろう。 * 自分の身の回りで規則について考えたこと(昨年度生徒会「白靴」改訂への取組)を想起させ、規則に頼らず、自己判断が大切なことに気づかせる。 授業を通して考えたことを最後にまとめよう。</p>
<p>5 振り返り</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">様々な規則が作られていく中で、私たちが毎日の生活の中で大切にしていきたい心構えを考えてみよう。10</p>				<p>* まとめた考え、授業の印象、感想等を発表してもらおう。</p>
<p>6 次時の予告</p>	<p>・話し合いを終えた後の今の考えをまとめる。</p>	10		

学習指導案8 My道徳 自分の気持ちをコントロールする(3年)

提言者	プロジェクト3 男子1名 女子2名
主題名	自分の気持ちをコントロールすることについて考える
関連する鍵	3 何ごととも自分で判断し実行し責任をもつ鍵 / (1 - (3))
資料名	・11月6日付毎日新聞(サッカー国際試合でスロバキアファンがイングランド黒人選手に向かって差別的発

	<p>言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月2日付上毛新聞(35億円分税徴収漏れ、郵貯利子局員関与の不正も) ・10月25日付内外教育(中2男子、兄刺し殺す) ・10月1日付朝日新聞(肉の表示偽装返金、販売の3倍) ・10月上毛新聞(冬季ニジマス釣り場「一人15匹」守って) ・10月3日付上毛新聞投書欄「ひろば」(やめる勇気と断る勇気)
学習のねらい	四つの新聞記事にみられる自分の欲求を抑えることが出来ずに不義、不正を働いてしまった人間の姿をもとに、悪を毅然として退ける良心や自分の気持ちをコントロールすることの大切さを考える。
準備	・ポストイット35枚×2(70枚)
意見交換の仕方・話し合いの仕方・アイデア	<p>1 五つの新聞記事を提示し、「自分の気持ちをコントロールできない」という共通項に注目し、失敗事例から考える。</p> <p>2 小グループ(4~5人構成)で考える。</p> <p>3 机の配置はコの字型でスタートし、途中グループ(班別)に隊形移動。</p>
その他	<p>道徳アンケートに見る1-(3)の内容項目の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が「学校で特に力を入れてほしい鍵」1位 ・生徒が「不安や心配を感じている鍵」2位 ・提言者がみんなと一緒に考えたいこととしてあげたこと ・欲望、欲求に負けないためにはどうすればよいか。 ・なぜ、コントロールすることが必要(大切)なのか。

1時間の大きな流れ	プロジェクトチーム(提言者)の活動・司会者の動き・発言	時間	一般生徒の学習活動	教師の発問・支援等
<p>《気づく》</p> <p>1 グループまたは個人による「提言」</p>	<p>1 提言者は、二つの事件について説明し、提言理由と「自分をコントロールすること」について考えていくことを伝える。</p>	10	<p>1 提言理由を聞き、今日の学習について確認する。</p>	<p>* 机の配置はコの字型でスタートし、途中グループ(班別)に隊形移動する。司会者は中央に配置し、話し合いの際は自分の班に移動する。</p> <p>* 生徒が持ち寄った二つの資料に、教師提示の三つの資料を加え五つの資料で考えていくことを知らせる。</p> <p>* どんな問題意識をもったのかを明らかにする。</p> <p>* 保護者が「学校で特に力を入れて指導してほしい鍵」1位、生徒が「不安や心配を感じている鍵」2位にあげている鍵であることを知らせる。</p>
<p>2 自分の考えをまとめる(あらかじめまとめている場合は)自分の考えを再確認する・補足する</p>	<p>2 記事を読んで考えたことをまとめるよう伝える。</p> <p>記事を読んで考えたことをまとめてください。発表してください。</p>		<p>2 記事を読んで考えたことをまとめる。</p> <p>・記事を読んで考えたことをまとめ、発表する。</p> <p>・自分に近い考えの所にネームプレートを貼る。</p>	<p>* 様々なタイプの意見、感想を引き出す。</p>
<p>《広げる・深める》</p> <p>3 学級全体での意見交流・意見交換</p>	<p>3 五つの事件が起きてしまった原因を考え、それらの行為を回避できた可能性について探ることを伝える。</p>	15	<p>3 五つの事件の原因を考え、それらの事件が回避できた可能性について考える。</p>	
<p>4 先生からの助言(適宜)</p>	<p>なぜこういう行為に陥ってしまったのだろう。</p>	(6)	<p>事件の原因を当事者の立場に立って考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合に負けたらだちを他に当たってすっきりさせようとした。 ・むしゃくしゃした気持ちをやつあたりした。 ・仲間からお金ももらえると聞き、悪いことだとは思ったがやってしまった。 ・かっとして冷静に判断できなくなっていた。 ・自分のために注意してくれたのに、それが分からず逆恨みしてしまった。 ・自分一人くらいは大丈夫だろうと思って持ち帰ってしまった。 	<p>* 班ごとにそれぞれの事件の原因を探る。</p>
	<p>何をコントロールできれば、これらの行為は回避できたのだろう。</p>	(9)	<p>何をコントロールできればこれらの行為は阻止できたのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・~したいという自分の欲求、欲望そのものを抑える。 ・たくさん持ち帰っちゃえとか、お金をだまし取っちゃえと行けないことをやってしまおうと思う気持ち。 ・思っているだけなら事件にはならない。行動に移すときにブレーキをかけられれば。 ・見つからなければ、やってもいいという誤った考え方。 	<p>* 人ごとでなく自分ごとで考えられるよう、行為を阻止できた可能性について考えさせる。</p>
<p>《つなげる》</p> <p>5 振り返り</p>	<p>4 自分自身を振り返る。</p>	10	<p>4 これまでの自分自身を振</p>	<p>* 自分自身の中にも、自分</p>

<p>私たちにもこれをやるうか、よそつかと思ひ悩むことはよくある。誘惑に負けそうになることもある。その時、どんなふうにかえてそれを踏みとどまるのだから。</p> <p>5 自分の気持ちをコントロールしていくことが、なぜ大切なのかを考える。</p> <p>自分をコントロールし、欲求に打ち克つことで、私たちにあってどんなよいことがあるのだから。</p>	<p>繰り返し、自分の判断の裏側にある考えを紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなふう思うこと自体いけないことだと自分をいましめた。 ・他のことで今の気持ちを紛らわそうとした。 ・これをやってしまったらとあとの結果を考えた。 ・相手のことを考えてこんな今年ちゃいけないと思ひ返して踏みとどまった。 ・自分自身に傷をつける事になると考え、思いとどまった。 ・もっと冷静にならなければと自分に言い聞かせた。 ・悪いことは悪いと考え直した。 ・人に流されたり、つられちゃいけない、自分で判断しなければと考えた。 ・自分にとって何がよいことなのかを考えなくてはと考えた。 ・自分自身の将来を大切に考え、判断し、行動しなくてはと考えた。 ・自分で考えて、よりよい行動を決定していくことが大事だけど、私の場合は人のアドバイスで思いとどまったこともある。だからブレーキをかけてくれるような人をもっている事も大事。 <p>5 自分の気持ちをコントロールしていくことが、なぜ大切なのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長につながる。 ・乗り越えたことで自分の力になっていく。 ・みんなが悲しい思いをしないですむ。 ・取り返しのつかない結果を招かなくてすむ。 ・自分の将来に傷が付かない。 ・自分だけでなく、相手や周りの人も嫌な思いをしないですむ。 ・乗り切った経験の一つ一つが自分の自信になっていく。 	<p>の気持ちをコントロールするときに葛藤したり、誘惑に負けてしまうなどの弱さがあることに気づかせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 自分の気持ちをコントロールできなかったマイナス体験を振り返らせるのではなく、自分の弱さや想起させながら、その中でも弱さを乗り越えられたプラス体験を振り返らせることで、これからの行動へつなげたい。 * 具体的な場面を思い出させて考えさせる。 <p>* 時間的な余裕がなければ、5の発問の内容を踏まえて、「授業を通して考えたこと」としてまとめさせる。</p>
<p>6 次時の予告</p>	<p>・話し合いを終えた後の今の考えをまとめる。</p>	<p>10</p>
		<p>授業を通して考えたこと、印象、感想等を簡単に発表してもらおう。</p> <p>授業の印象や話し合われた内容、道徳的価値に関わるなどを簡単にコメントする。</p> <p>授業を通して考えたことを最後にまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 上毛新聞投書欄「やめる勇気と断る勇気」を配布する。 * 上記文書を読んでから、まとめるよう告げる。

学習指導案 9 M y 道徳 自分らしさを発揮して生きる～最近の若者の人マネをする傾向を基に考える(3年)

提言者	プロジェクト5 女子4名
主題名	自分らしさを発揮して生きる～最近の若者の人マネをする傾向を基に考える
関連する鍵	5 自分のよさを見つめ個性を伸ばしていく鍵 / (1 - (5))
資料名	生徒の生活体験(個別体験) 生徒が集めた資料: ノーベル化学賞受賞の田中耕一さんの新聞記事
学習のねらい	ファッションや髪型など、人のマネをする傾向にある若者に疑問をもった生徒の主張をもとに、自分のよさを見つけ、自分らしさを発揮して生きることについて考える。
準備	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙(大)35枚×2(70枚) ・B4版中質紙 5枚×8(40枚) ・マジック8セット ・発表順番カード(1~8) ・生徒事前学習用ワークシート、はあとふるメッセージカード(35枚) ・保護者への「子どものよいところ」協力依頼 ・封筒35枚、はあとふるメッセージカード(35枚)
意見交換の仕方・話し合い	<p>1個人差を考慮し、提言について思うこと、考えたこと等を事前学習としてあらかじめまとめさせておく。</p> <p>2班による話し合いを中心とし、ポストイットを使用し、生徒に意見をまとめさせる。</p> <p>3保護者への協力(子どもへのメッセージ)を依頼し、終末で生かす。</p>

の仕方 アイデア	
その他	提言者がみんなと一緒に考えたいこととしてあげたこと ・個性、自分らしさって何？ ・自分らしさを人に話せる？ ・人のマネをしてしまうわけ？ その心は・・・。 ・自分らしく生きることは、どんなよいことがあるか。

1時間の大きな流れ	プロジェクトチーム（提言者）の活動・司会者の動き・発言	時間	一般生徒の学習活動	教師の発問・支援等
《気づく》 1 グループまたは個人による「提言」	1 提言者は、今日の授業のテーマを説明し、提言理由とともに、自分たちの主張をする。「最近の若者の人マネをする傾向」を基に「自分らしさを発揮して生きること」について考えていくことを伝える。 《提言要約》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「ちゃんと一緒にいい」か「ファッションがはやっているから私もまねしよう」などと、みんな似たような格好したり、考えを合わせていることから“個性って何？”と疑問をもつようになった。一人一人の“らしさ”を伸ばしていきたいと思った。そこで、今日は「自分らしさを発揮して生きる」ということについてみんなで考えたい。</div>	2	1 提言及び理由を聞き、今日の学習について確認する。	* 机の配置は最初からグループ（班別）でスタートする。司会者は中央に配置し、話し合いの際は自分の班に移動させる。 * どんな問題意識をもったのかを明らかにして、提言する。
2 自分の考えをまとめる（あらかじめまとめている場合は）自分の考えを再確認する・補足する	2 提言について思ったり、感じたりしたことを紹介し合うことを伝える。 提言を聞いて、感じたり考えたことを班の中で紹介し合う。	5	2 提言を聞いてまとめてきた自分の考えを紹介し合う。 ・私もみんなと同じ格好を無意識のうちにしていた。言われてみればその通りだと思った。 ・僕も何も考えずに「みんながやっているから」って感じてやっていた。今日は、自分らしさということを考えてみたい。	* あらかじめ、提言について思ったり、感じたり、考えたことをまとめさせておく。 * ここでは、全体で発表させることはしないが、友だちの考えを知らせるために、班員同士で回し読みをさせる。
《広げる・深める》 3 学級全体での意見交流・意見交換	3 人のマネをしてしまっている自分たちの傾向について振り返ることを伝える。	3	3 人のマネをしてしまった人と同じことをしている自分たちの行動の傾向を振り返る。 ・流行りの服装や髪型をする ・携帯電話を買う ・体操服の着方（ずりパン） ・体操服で、夏の男子の長ズボン、冬の女子のハーフパンツ ・「ちょー」「むかつく」などの言葉遣い ・語尾を伸ばした話し方 ・女子のスカート丈、男子の腰パン	* 上記の2と共に事前学習として考えさせ、まとめておき提示する。 * まとめた資料は、朝の会であらかじめ配布しておく、自分の心当たりをチェックさせておく。 * 紹介されたことを見て、他の例があれば補充させる。
4 先生からの助言（適宜）	4 人と同じことをしてしまう（人のマネをしてしまう）わけを考えることを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">なぜ、人のマネをしてしまうのか。その裏側にある心を考えよう。</div>	15	4 人のマネをしてしまう訳を考える。 ・自分だけ取り残されたような気持ちがするから。 ・仲間はずれになってしまうから。 ・何か同じ格好していないと不安。 ・何となく人に流されちゃう。 ・自分で考えるのが面倒。 ・目立ちたくないから。	* ポストイット（大）に書かせ、班ごとにタイプ別にまとめさせる。まとめた意見は、B4中質紙に書かせ、黒板に貼らせる。 * 自分の気持ちを中心に振り返らせるが、様々なタイプの意見が出るよう、自分の考え意外にも考えさせる。 * 机間観察で、たくさんあがっていきそうな班を指名し、リーダーに発表させるが、班内で意見の広がりが見られない場合は、二つの班を合体させ（座席表の隣同士が一緒になる）意見交流を図る。 * 発表順は、机間指導の際、「発表順番カード」を配布しておく、それに基づいて指名する。
《つなげる》 5 生活志向・未来志向振り返り	5 自分らしさを発揮して生きるとはどういうことなのかを考えることを伝える。	20	5 田中さんらしさについて考える。	* 補助発問：同じ格好をしていないと仲間はずれにされちゃうの？一緒に遊べないの？ * 補助発問：どうして不安なの？ * 補助発問：・・・ということ、自分じゃ何も考えたり、判断していないってこと？ * 提言者が持ち寄った「田中耕一さんの記事をここで生かすが、自分らしさ

	<p>提言者が個性的な人物として注目した「田中耕一さん」のことを考えてみよう。田中さんの個性、田中さんらしさって何だろう。</p>	(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちと変わらない普通の人が感じる。庶民的。 ・研究になるとすごい。とことんやる。 ・役員への昇進を断るなんて無欲な人。 ・すごく謙虚なところがいい。 ・ひたむきに研究に打ち込む姿がいい。 ・すごい賞をもらったのに、偉ぶるわけでもないし、実に奥ゆかしい。 ・好きなことに熱中できるところがいい。 	<p>を發揮して生きている一人の例として扱い、深入りは避ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 自由に相談させる。 * 変人扱いされたこと、研究に没頭する姿、謙虚さ、庶民性などとともに、自分らしさを貫いたひたむきな研究姿勢がノーベル化学賞につながったことを押さえる。
	<p>自分らしさについて考えてみよう。</p>	(5)	<p>自分らしさについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 生徒の司会進行はここまでとする。 * 田中さんにも田中さんらしさがあったように、みんなにもそれぞれ「らしさ」があり、それを考えていくことを補足して説明する。 * 3～5分ほど、自分自身のよいところを自分で考えさせる。 * 自分では「自分のよさ」は分からないことが多いので、友だち、保護者から見た「自分のよさ」をあらかじめ書いてもらい「はあとふるメッセージ」として封筒に入れておき、一人一人に配布する。 <p>親と友だちが書いてくれた「はあとふるメッセージ」を読んでみよう。</p> <p>自分らしさを發揮して生きていくために大切なことをまとめてみよう。</p>
	<p>親と友だちから寄せられたメッセージを読む。</p>			
	<p>自分らしさを發揮して生きていくのに大切なことを考える。</p>			
6 提言者からのコメント	6 提言者によるコメント	(10)	<ul style="list-style-type: none"> ・人のマネをしなくて自分の本当にやりたいことやっていく。 ・人に頼らず、自分で考え、判断して、いろいろなことを決めていく。 ・人に流されなくて、自分自身の感じ方や考え方を大切にしていける。 ・自分に自信をもっているいろいろなことをやっていくことで、一人一人の個性が光り輝く。 ・その人らしさをみんなが認めていくことも大切だ。 ・本当に自分がやりたいことを自分がやっていくことで充実感も得られるし、人のマネでない自分自身の人生を歩むことが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> * 人まねをしなくて、自分の考えや判断などを大切にしながら、自分らしさを發揮していくことが、自分自身の人生を拓いていく鍵の一つになることになることに気づかせたい。
7 先生からのコメント	7 先生からのコメントを聞く。	3		<ul style="list-style-type: none"> * 授業を通して考えたこと、印象、感想等を簡単に発表してもらおう。時間的な余裕がなければ省略する。 * 自分の特長を生かして、東中・藤岡高校・社会人・福岡ダイエーホークスと進み、プロ野球選手になった「飯島投手」ヲ紹介し、彼が書いてくれた書いた「自分らしく」の色紙を紹介する。 * 長身でありながら、横手投げという自分の投球ホームにこだわり、大成したことを補足して説明する。 * 授業の印象や話し合われた内容、道徳的価値に関わる内容などがあれば、簡単にコメントする。
8 次時の予告	8 次時の予告をする	2		<ul style="list-style-type: none"> * 次回の提言者に予告させる。
	<p>次回の道徳は、12月6日(金)第5校時です。牛込さん、ジョデートさん、西須さん、関口君、浅井君、北野君の提言により、「目標の実現に向けて」というテーマでみんなで考えていきます。</p>			

	事後 授業を通して思ったこと、考えたことをまとめる。	* 事後の課題とし、翌朝、担任まで提出するよう伝える。
--	----------------------------	-----------------------------

学習指導案 10 My 道徳 夢は見るものではなくつかむもの (3年)

提言者	プロジェクト2 男子3名 女子3名	
主題名	夢は見るものではなくつかむもの	
関連する鍵	2 目標や希望に向かい勇気をもって生き抜く鍵 / (1 - (2))	
資料名	生徒が集めた新聞記 教師が用意した資料	1 高樹沙耶(女優)フリーダイビングW杯銀メダル 2 松井秀喜選手の大リーグ挑戦の新聞記事 3 東日本縦断駅伝 輝いた29歳!!(小林選手) 4 素顔の勇者たち イチロー 5 見えぬ両親へ 15歳の叫び「一歩一歩夢もち前進」(少年の主張全国大会最優秀賞) 6 和田(早大)怪物江川抜く 444奪三振 25年ぶりに新記録 7 青色のバラづくりの夢にかけて 年、90歳
学習のねらい	夢や希望、目標に向かって努力を続ける“ひと”の姿を通して、夢や希望、目標をもつことの大切さと共に、夢や希望を実現するために、粘り強く努力しようとする意志と態度を育てる。	
準備	・付箋紙(中)20枚×8(160枚) ・B4版中質紙 3枚×8(24枚) 4枚×8(32枚) ・マジック8セット ・発表順番カード(1~8)	
意見交換の仕方・話し合いの仕方アイデア	1 個人差を考慮し、提言について思うこと、考えたこと等を事前学習としてあらかじめまとめさせておく。 2 班による話し合いを中心とし、付箋紙を使用し、生徒に意見をまとめさせる。 3 終末で、学習したことを基に、夢や希望を実現させるために大切なことを四コマ紙芝居にする。	
その他	提言者がみんなと一緒に考えたいこととしてあげたこと ・夢の実現に向けて必要なことは何か。 ・夢って何なんだろう? 目標をもつと、なぜ頑張れるのか。 ・自分自信に克つためにはどうすればよいか。 ・どうしたら夢をもつことが出来るのか。	

1時間の大きな流れ	プロジェクトチーム(提言者)の活動・司会者の動き・発言	時間	生徒の学習活動	教師の発問・支援等
《気づく》 1 グループまたは個人による「提言」 2 自分の考えをまとめる(あらかじめまとめている場合は)自分の考えを再確認する・補足する 《広げる・深める》 3 学級全体での意見交流・意見交換 (先生からの助言(適宜))	1 提言者は、今日の授業のテーマを説明し、提言理由とともに、自分たちの主張をする。「夢や希望を実現するために」というテーマで考えていくことを伝える。 《提言要約》 女優でありながら、フリーダイビング日本代表として活躍する高樹沙耶さん、来シーズンメジャーリーグに挑戦する松井秀喜選手、東日本縦断駅伝で区間賞に輝いた29歳の駅伝ランナー小林さんなど、夢に向かい懸命に努力する人たちがいる。中学3年生として、自分の進路開拓を間近に控え、夢や希望の実現に向かう私たちが、くじけそうになってしまうこともある。それを乗り越えるには、どんな心構えや考えが必要なのか、みんなで考えていきたい。	2	1 提言及び理由を聞き、今日の学習について確認する。	* 机の配置は最初からグループ(班別)でスタートする。司会者は中央に配置し、話し合いの際は自分の班に移動させる。 * どんな問題意識をもったのかを明らかにして、提言する。
	2 夢や希望を実現するための自分たちの壁について考える。 なぜ、途中でくじけてしまうのか。自分の夢や希望を実現させるために、壁になっていること、壁になりそうなことを考えてみよう。	3	・努力が続かない。 ・気持ちが弱く自分自身に負けてしまう。 ・すぐ誘惑に負けそうになる。 ・夢があってもどうやったら実現できるのか(実現までの道筋)がはっきりしていない。 ・自分に甘い。厳しくできない。	* あらかじめ事前学習でまとめさせておく。 * ここでは、全体で発表させることはしないが、友だちの考えを知らせるために、班員同士で回し読みをさせる。 * 自分(たち)の弱さ、乗り越えるべき壁に気づかせ、押さえる。
	3 割り当てられた“ひと”の姿を通じて、夢や希望を実現させるために大切なことについて班ごとに考え、話し合ってみよう。	20 松井選手(2班) 1 夢を捨てられない、夢を貫きたいという強い思い(命をかける思い) 2 大きな決断力をもつ。自分のスタイル(ホームランバッター)へのこだわり。	小林選手(2班) 1 挫折を乗り越え、あきらめずに復活を目指した意志の強さ 2 力強く見える。(大学時代と同じ練習量をこなす)自信が生まれる。	イチロー選手(2班) 1 努力と執念。はっきりとした夢。夢に向かって目標がしっかりしている。激しい練習から生まれる自分への自信、将来(夢の実現)への強い自信。 2 自分への自信が生まれる。堂々とする。自分への誇り。こだわり(振り子打法)が生まれる。さらに次の夢が生まれる。

	3 裏切り者といわれても挑戦する価値のあるもの。	3 あきらめないこと、自分を信じていることが大事。	3 練習(努力)しなければ実現できないという考えをもたない。好きなことを見つけ、続けることが大事。一つ実現させれば、夢はさらに続く。	
	西 誠君(1班)	和田投手(1班)		
	1 自分の置かれている環境を乗り越えようとする強い気持ち。自分ことを真剣に思ってくれる人の存在。	1 松坂大輔へのあこがれ。他大学の同期生に追いつきたい。記録への挑戦。自分はまだまだ、もっと上に、という向上心。ひたむきに重ねた努力。ライバルの存在。		
	2 自分の恵まれない環境に負けない強い心と人の優しさのわかるひとに。	2 強くなる。もっと努力を、とひたむきになる。ライバル心が生まれる。		
	3 「一步一步夢も前進」自分の人生の支え。	3 努力で達成するもの。クリアすると次に目標を。		
4 生活志向・未来志向 振り返り	4 3を参考に今日学んだことを四コマ紙芝居にして発表する。			
		15		
	5 (改めて)夢や目標の実現に向かって大切な心や態度を自分でまとめる。			
		10		
5 先生からのコメント	6 先生からのコメントを聞く。			
6 次時の予告	7 次時の予告をする			
	次回の道徳は、12月10日(火)第4校時です。伊藤君、横山君、新井和宏君の提言で、「かけがえのない命・人間として“動く”」というテーマで学習します。			
	事後、授業を通して考えたことをまとめる。			
				<p>* 夢の実現に向けて、理解者や協力者の存在にも気づかせたい。</p> <p>* ここでは、自分自身の強い意志、決断、周囲の理解や協力なくして、夢や希望は実現できないことに気づかせたい。</p> <p>* 夢をもつことで、目標ができて、毎日の生きていくうえでのパワーになること、充実感のある生き方、積極的な生き方につながることで、活力が生まれることに気づかせたい。</p> <p>今日学習したことをもとに、夢や希望実現させるため大切なことを四コマの紙芝居にしてみよう。</p> <p>* 授業を通して考えたこと、印象、感想等を簡単に発表させる。時間的な余裕がない場合は省略する。</p> <p>* 90歳にして今なお、青色のバラを品種改良すべく、研究に取り組んでいる男性を紹介する。</p> <p>* 次回の提言者に予告させるが、時間がなければ省略する。</p> <p>* 放課後までにまとめて提出することを原則とするが、個人差を考え、明朝までの提出も考慮する。</p>

学習指導案 11 My 道徳 思いを伝える～同じ人間として“動く” (3年)

提言者	プロジェクト13 男子3名		
主題名	思いを伝える・・・同じ人間として“動く”		
関連する鍵	2 人間として誇りを持って生きていく喜びを味わう鍵 / 3 - (3)		
資料名	アンピリーバブル 9:11 その時・・・自ら動いた日本人(ビデオ資料) レット・ロール 9:11 夫からのファイナル・コール(いのちのちのこほ社)		
学習のねらい	国境を越え、同じ人間として自分の思いを伝えるために行動した3人の日本人の姿を通じて、人間の気高さ・素晴らしさに触れ、少しでもそんな生き方に近づけるようになりたいという気持ちを育てる。		
準備	・付箋紙(大)一人2枚 ・B4版中質紙 8枚 ・発表順番カード		
意見交換の話し合いのアイデア	1 ビデオ視聴の祭、視聴の視点をあらかじめ提示する。 2 班による話し合いを中心とし、ポストイットを使用し、生徒に意見をまとめさせる。		
その他	提言者がみんなと一緒に考えたいこととしてあげたこと・自分の思いを行動に移すことの素晴らしさ・行動することの大切さ		

1時間の大きな流れ	プロジェクトチーム(提言者)の活動・司会者の動き・発言	時間	生徒の学習活動	教師の発問・支援等
《気づく》 1 グループまたは個人による「提言」	1 提言者は、今日の授業のテーマを説明し、提言理由とともに、自分たちの主張をする。「アメリカ同時多発テロ」の惨状を知って、自ら動いた3人の日本人の日本人の姿を通じて「人に思いを伝えること・行動することの素晴らしさ」について考えていくことを伝える。 《提言要約》	5	1 提言及び理由を聞き、今日の学習について確認する。	* 机の配置は最初一斉からスタートする。司会者は中央に配置し、話し合いの際は自分の班に移動させる。 * どんな問題意識をもったのかを明らかにして、提言する。
	2001年9月11日のアメリカ同時多発テロの惨状をニュースで知り、自分の思いを伝えるために自ら行動を起こした3人の日本人がいた。			

<p>2 自分の考えをまとめる (あらかじめまとめている場合は)自分の考えを再確認する・補足する</p> <p>《広げる・深める》</p> <p>3 学級全体での意見交流・意見交換 (教師からの助言(適宜))</p> <p>《つなげる》</p> <p>4 生活志向・未来志向 振り返り</p> <p>5 先生からのコメント</p> <p>6 次時の予告</p>	<p>一人は荒木静子さん、彼女は、「ビルにいた夫からの最後の電話を受けた奥さんに励ましの気持ちを伝えたい、多くの人の協力で出来た曲を何とか女性に届けたい」と考え行動に移した。 二人目は、難病と闘いながらギターを生きる支えにしている青年、石黒剛史さん、彼は「自分のギターで一人でもいいから元気を出してもらいたい」と思い、動いた。 そしてもう一人は、消防士の猪口健さん。彼は「夢をもとに作った絵本で亡くなった消防士の子どもたちみ元を取り戻してほしい。」と考え、行動を起こした。 僕たちには3人のように行動するなんてことは考えもつかなかったし、そう考えたとしても、僕たちには彼らのように行動に移すことは出来なかったと思う。みんなはどうか。なぜそこまでできるのだろうか。それが僕たちが一番考えてみたかったことだ。</p>				
	<p>2 提言者は、「なぜ、そこまで出来たのだろうか。出来る、出来ないの差は何だろうか。」と投げかけをし、ビデオを視聴し、考えることを伝える。</p>				
	<p>2 視聴の観点を確認し、ビデオを視聴し、考える。</p>				
	<p>なぜ、彼らはそこまでできたのだろうか。出来る、出来ないの差は何だろうか。」ということを考えながら、ビデオを見てみよう。自分の考えをまとめよう。考えたことを交流し合おう。</p>	15			
	<p>3 行動する大切について考えることを伝える。</p>		15		
	<p>3 行動することの大切さを考える。</p>				
	<p>行動することの大切さを考えよう。考えたことを交流し合おう。</p>	10			
	<p>4 先生からのコメント</p>				
	<p>4 命を懸けてテロを阻止した乗客たちがいたことを「レッツロール！（いきましよう）の言葉と共に紹介されたことを聞く。</p>				
	<p>5 授業を通して考えたことをまとめる。</p>				
		5			

* 感動を共有させると共に考える視点を与えてやることで、視聴のポイントを明確にする。

* 3人のように行動していくことはなかなかできないことだが、どんなふうに考えていくことが大切なのか、3人から学べることを考えさせる。

* 国境を越えるような大きなことでなくても、身近なところで小さなことでもいいから振り返らせる。
* 時間内にまとめきれない場合は、放課後までにまとめて提出することを原則とし、個人差を考慮し、明朝までの提出を考慮する。

学習指導案 12 あいさつについて考える（1年）

主題名	「あいさつ」の意味を考えよう			内容項目	2 - (1)
資料名	自分のあいさつ体験				
ねらい	あいさつの様々な形を考え、そこに込められた気持ちやあいさつの意義を考え、心のこもったあいさつをしていこうとする心情を育てる。				
体験との関連	事前	あいさつ運動 オープンスクール	授業	事後	あいさつ運動 日常生活
準備	事前アンケートをとっておき、教室に掲示しておく。(付箋紙に書き、模造紙に掲示) 生徒：心のノート 教師：付箋紙(5色×30枚×8班 1色×10枚×8班)マジック(8セット) A3版再生紙(4枚×8)色画用紙(8枚)				
	学 習 活 動 ・ 主 な 発 問			時	教師の支援及び指導上の留意点
導入	<p>1. 今日の学習課題について知る。 「あいさつ運動」の時、自分が心がけていることって何？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気がよくあいさつをする。 ・自分から先にあいさつをする。 ・必ずあいさつを返すようにする。 ・あまり意識していない。 ・特に心がけていることはない。 <p>あいさつ運動であっても、あまり意識していない人もいるようだね。ちょっと今日のこと思い出してみよう。みんなは、3時間目の今まで何回くらいあいさつをしたかな？ 先生は…、 回かな。昨日一日はどうだったろう。 昨日はみんながしたあいさつを思い出して書いてみよう。時間は2分。それでは、用意、始め。 時間です。それじゃあ、みんな起立して。聞いていくよ。0～5個の人、座って。6から10個の人、座って。…最後まで残ったさんは？ 個でした。拍手！ 今日は、みんながあげてくれたあいさつを基に、あいさつの意味について考えていきます。</p>			5	<ul style="list-style-type: none"> ・やり取りの中で、生徒会本部役員、生活委員にやっているときの感想も聞いていく。 ・軽快なリズムでのやり取りの中で、緊張感をほぐし、雰囲気や和らげ、リラックスしたムードをつくる。 ・中央に「あいさつ」と書いたワークシートに思いつくままに書かせる。 ・生徒があげてくれたあいさつ(日常体験)を基に考えていくことを知らせる。
展開	<p>2. グループになってあいさつのもっている意味について考える。</p>			20	<ul style="list-style-type: none"> ・中央に「あいさつ」と書かせ、その周りにポストイットを貼らせる。

前段	<p>まず、自分で思い出したあいさつをポストイットに書いて貼ってみよう。全員が貼り終わったら、ここでひとまず、各班の今の個数を聞いてみよう。1班は…。8班は… 個。うーん、4人、5人と集まると結構な数字になるもんだね。それでは、今度は、毎日のことをよく思い出して、みんながよく使うあいさつやよく耳にするあいさつも考えてつけたしてみよう。さあ、班で幾つまで記録を伸ばせるかな？時間は10分、用意、始め！</p> <p>みんなで考えるとたくさんのあいさつがあがるね。こうやってみんなの所を回っていると、もうみんな分類しながらあいさつを整理しているようだね。それをもう少し進めてみよう。そして、あとで、自分たちの班はどんなふうに分類してみたのか、どんなことに気付いたかを班ごとに発表してもらおう。</p> <p>それじゃあ、班ごとに発表してもらおう。</p>		
後段	<p>(全体の発表が終わったら)</p> <p>どんなあいさつが多かった？ どうしておはようが多いのだろう？ 同じ意味でも言い方の違う言葉がたくさんあるね。同じなのかな。何が違うのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ気持ちの込め方が違うんだ。 ・親しいか、親しくないか、自分より目上か目下かなどを考えて使い分けているんだ。 ・やっぱり目上の人には、敬意を表して丁寧と言うのだと思う。 ・親しいのに急に丁寧な言葉遣いを使うと、親しい気持ちが伝わらない。だから、親しい人には気を遣わない言葉を使うし、あまり親しくない人にはやっぱり失礼のないように少し丁寧に言うべき。 ・友達なんか堅苦しいあいさつなんかすると、やっぱり変だし。どうしたのってことになる。親しい人には飾らない言葉がいい。 <p>気持ちが違っていて、みんなはひとつひとつのあいさつにどんな気持ちを込めているのだろう？ あいさつの大事などころってどんなところ何だろう。あいさつのよさってどんなところだろう。</p>	5	<p>・あいさつを考えると、生徒はすでに分類して整理しながら、考えていることが予想される。机間指導をしながら、気づきのヒントになるような助言をしていく。</p> <p>・意味・内容(どんな気持ちが込められたあいさつか)、対象(誰に対してのあいさつか)、場面(どんな場面でのあいさつか)、時間(どの時間帯のあいさつか)、マナー(日常習慣として)など、様々な観点で分類することが予想されるが、生徒の自由な発想にまかせる。</p> <p>・相手によって使い分けをしていることに気付かせたい。</p> <p>・班の話し合いの状況を観察し、机間指導の中で発表順番カードを配っておく。</p> <p>・発表時間として8分を確保する。</p>
終末	<p>3. 学習してきたことを基に、気持ちのこもった あいさつをしていくための提案をする。</p> <p>最後に、学習してきたことを基に、みんながこれから気持ちのこもったあいさつをしていくのに大切にしていきたい思いを四コマ紙芝居にして発表してみよう。</p> <p>4. 授業を通して考えたことを書く。</p>	20	<p>・「目上の人だから丁寧に言う」などの意見には、「どうして目上の人には丁寧に言うの？」などの追発問をし、相手を敬う気持ちを込めるなどの考えを引き出したい。</p> <p>・班ごとの発表で共通部分がたくさん出た場合には、「各班の共通している所はどこか」を発問し、共通部分を抑える。</p> <p>・あいさつすることによってどんなよいことがあるのか、相手との関係はどうなるのかななどにも考えを広げさせる。</p> <p>・ここでは、実践化、実生活への意識の連続を考え、紙芝居による提案発表の方法を採用。</p> <p>・マジック1セット及びA3版再生紙を班ごとに4枚ずつ配る。</p>
		事後	

学習指導案 13 My 道徳 「私が変わります」が地球を守る (1年)

提言者	男子4名 女子1名
主題名	「私が変わります」が地球を守る
関連する鍵	11 自然や美を愛し人間の力を越えたものへの畏敬の念を深める鍵 (心のノート P62~65)
資料名	オランウータン 大きな群れ 新たに発見(上毛新聞 平成14年11月/生徒が持って来た新聞記事) 行き場をなくした「森の住人」オランウータン(滅びゆく動物たち この生命を人間は守れるか/青春出版社:教師が準備した本)
学習のねらい	個体数が急減しているオランウータンの実態を通じて、課題意識をもち、自然や環境を保護していこうとする意欲を育てる。
準備	・付箋紙(中)一人3枚×40 ・B4版中質紙8枚 ・マジック1セット ・発表順番カード(1~8)
意見交換の仕方・話し合いの仕方アイデア	1 班による話し合いの場面では、ポストイットを使用し、生徒間の意見交流を促進させ、タイプ別に意見をまとめさせる。 2 事前に、今日、環境問題といわれている問題についてあげさせておく。
その他	提言者がみんなと一緒に考えたいこととしてあげたこと ・どうして数が減っているのか。 ・どうしたらオランウータンを守れるのか。 私たちに出来ることはないのか。 ・世界や日本の環境問題 ・何かやっていった方がいいと思うけれど・・・。

1時間の大きな流れ	プロジェクトチーム(提言者)の活動・司会者の動き・発言	時間	生徒の学習活動	教師の発問・支援等
《気づく》 1 グループまたは個人による「提言」	1 提言者は、今日の授業のテーマを説明し、提言理由とともに、自分たちの主張をする。「急減するオランウータン」の実態をもとに「自然や環境」について考えていくことを伝える。 《提言要約》 先日、テレビで「オランウータン」のことを取りあげたスペシャル番組を見た。このオランウータンは数が急速に減っている。また、最近日本のすぐ近く(伊豆大島と大洗)で大きな船が座礁するという事故が続けて二件あった。どちらの海で	5	1 提言及び理由を聞き、今日の学習について確認する。	* 机の配置は最初からグループ(班別)でスタートする。司会者は中央に配置し、話し合いの際は自分の班に移動させる。 * どんな問題意識をもったのかを明らかにして、提言する。

も重油が流失し海を汚している。たくさんの魚介類が死にもの海に戻るのに1～3年はかかると言われている。
こうした話題から「自然や環境」について考えたい。

事前に自分たちがあげた環境問題を知る。

- 3
- ・熱帯雨林の伐採。
 - ・人間による乱獲。
 - ・オゾン層の破壊。
 - ・地球温暖化。
 - ・砂漠化。
 - ・海洋汚染。
 - ・大気汚染。
 - ・ゴミ処理問題。
 - ・湖や沼、河川の水質汚濁。
 - ・土壌汚染。
 - ・ダイオキシン問題。

2 オランウータンが急減している原因について考える。

オランウータン・現地の人・日本人・島になったつもりで「最近住みづらくなった理由」を考えよう。

- 10 (オランウータンの立場から)
- ・食べ物が減った。
 - ・木が切られ、森林が少なくなってきた。
 - ・人間に捕まえられる。
 - ・森林火災による熱帯雨林の消失。
 - ・繁殖が進まない。

3 人間のどんな考え方が「環境問題」を生み出しているのかを考える。

人間のどんな考え方が「環境問題」を生み出しているのだろう。

(生徒による司会進行はここまで)

- 15
- ・人間のことしか考えない。
 - ・自分たちが便利なことを求めている。
 - ・人間が楽をすることばかりを考えている。
 - ・便利なことは幸せなことなんだという考え方。
 - ・目先のことばかりで後のことを考えない。
 - ・金儲けのことばかり考えている。
 - ・自分の都合しか考えていない。
 - ・人間のことしか考えない身勝手さ。

4 これからどう考えていくことが大切なのかを考える。

これから、私たちはどんなふう
に考えていくことが大切なのだろう。

- 10
- ・一人一人が自分のこととして考えていくことが大切だ。
 - ・自分ができることをやっていく。
 - ・自分に関係ないではなくて、自分も地球人の一人という考え方が大事。
 - ・本当に便利なことは幸せことなのかを考えていく必要がある。

5 授業を通して考えたことをまとめる。

7

みんながあげてくれた環境問題には、こんなことがありました。

- * 新聞記事を配布する前に、オランウータンになったつもりで考えさせ、課題を共有化する。
- * オランウータンがアジア地域(東南アジア)にしか生息しないこと、樹木の上で暮らすこと、食性の大半は果実、葉や樹皮、昆虫も食べることを随時補足する。
- * 特に挙手は求めないで、気づいた者からどんどん発表させる。
- * ワークシートに書かせて発表させる。
- * 途中で、資料 を配る。
- * 人間によって急減していることに気づかせる。
- * ポストイット(中)に書かせ、交流シートに貼らせ、グループで意見交流させる。

* ある植物が群生していることが新聞で紹介された直後根こそぎ掘り起こされてしまった野草、緑の少年団で植樹してすぐに盗掘されてしまった杉、捨て犬、車の排気量やディーゼル車などの規制の話題などを適宜紹介する。

* ここから教師サイドで進行する。

・『私が変わります』が地球を守る』という本を紹介する。

今日の授業を通して考えたことをまとめよう。

- * 自分がこれからやっていけそうなことも一緒に考えさせたい。
- * ワークシートが時間内にまとまらない場合は放課後までにまとめて提出させる。

2 自分の考えをまとめる
(あらかじめまとめている場合は)自分の考えを再確認する・補足する

《広げる・深める》
3 学級全体での意見交流・意見交換
(先生からの助言(適宜))

《つなげる》
4 生活志向・未来志向
振り返り



